

## 2019 年度会員交流会報告書

日 時：2020 年 1 月 18 日（土）14 時～16 時 30 分

場 所：防府市文化福祉会館 3 階 9 号室

テーマ：2019 年度会員交流会

- ・ ジェネラルソーシャルワークに関する意見交換
- ・ 出席会員による近況報告、情報交換
- ・ 会の活動、活性化に関する意見交換

参加者：10 名（全員社会福祉士会会員） ※懇親会参加者 9 名

報告者：企画担当理事 讃井康一

報告書作成日：2020 年 2 月 5 日

このたびの交流会は、独立型社会福祉士及び認定社会福祉士あるいは登録の更新を目指す会員を主たる対象として開催したが、参加者の顔触れは多種多様で（独立型社会福祉士、認定社会福祉士、高齢者施設、相談支援事業所、居宅介護支援事業所、障害デイ、児童デイ、地域包括等）、予想を超えて活発な意見交換がされ、ソーシャルワーク実践に対する意識の高さがうかがえた。

ジェネラルソーシャルワークに関する意見交換では、“行政職員ほどジェネリックな視点が必要”“相談を断らないための対応とは？”“個の課題をいかに地域及び社会の課題に結びつけたらよいか”“ネットワークが大事”などといったセンテンスを皆で深め、ディスカッションした。

また、会の活動に関しては、“会員数を増やすには各ブロックでの掘り起こしが重要”“地域における異業種交流は活発だが、会員だけの交流を活性化させることが大事”“研修情報を早めに周知してほしい”“開催される研修の意義や受講のメリットを具体的に発信することで参加者を増やす”“入会のメリット（実利）をいかに担保し、会員に発信するかが大事。ネットワークはその一つ”“ばあとなあに定年制を導入してはどうか”など、会の活動をどう活性化するかについて熱い議論が交わされた。さらに、基礎研修や認定社会福祉士のシステムや流れについて質問があり、参加した既履修者や登録者から説明があった後、

システムのあり方や活用の仕方についても話が及んだ。

会員一人ひとりのソーシャルワーク実践に対する意識や職域における課題、自身の将来像、会での活動等について意見を交わすことで、それぞれの立ち位置を確認し、実践を振り返ることができた機会となった。このような顔が見える交流機会を専門職団体が提供する意義は大きい。今後も継続的に実施されることを要望して報告を結びたい。

